

第7章 川崎市文化賞受賞

7-1

受賞の知らせ

昭和47年に制定された川崎市文化賞は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人または団体に対し、贈呈されます。

平成26(2014)年度 川崎市文化賞の炉端の会受賞の知らせが、9月16日(火)市長記者会見により発表され、川崎市政だより 10月1日号にも掲載されました。

以下の写真は受賞の知らせの後、例会の出席者で撮った喜びの写真です。



古民家に息吹を灯す囲炉裏の火

日本民家園の古民家を虫害や湿気から守るために囲炉裏で火を焚き、貴重な文化財を後世に伝える活動を行う、今年で設立20周年を迎えたボランティア団体です。会員は250名以上、年間活動日数も250日を超え、精力的に活動しています。

囲炉裏で火を焚く活動のほか、囲炉裏端でお客様を迎える床上公開や、団体ガイドなどを行うほか、有志による障子張りや英語ガイド、広報をはじめとするさまざまな活動を行っており、日本民家園には無くてはならない存在です。

(贈呈式当日に配布された炉端の会紹介の資料より)

(編集委員 10期 土曜 水野)